

「勉強しなさい、と言う必要はありません」

夏休みですね。いかがお過ごしでしょうか？

お子さんと一緒に過ごす時間が増えて、早くも「大変!」になっている保護者の方、結構いらっしゃるのではないのでしょうか？

「宿題はやったの、勉強しなさい!」。まさか口癖のように言ってませんよね。

人間は本来学ぶことが好きです。乳幼児をみていると、かなりの早さでこの世界で生きていくために必要なこと、たとえば動きや言葉、物事の仕組など、次々と身につけ、覚えていきます。

子どもは、一人残らずみんな、“周りの大人に喜んでもらえる自分”でいたいものなんです。しっかりした向上心の強い頑張りやさんでいたいのです。

“ありのままのあなたで十分いい子。あなたがうちの子で嬉しい!”

親がこういう気持ちになれば子どもは安心して意欲的に自分の好奇心を満たすようになります。

残念ながら子どもの準備が整っていないのに、周りの大人が待つことができない。“あなたは親の言う通りにしておけば間違いないのだから”と、子どもをコントロールし始めてしまうと大変です。これでは意欲はわいてこなくなってしまいます。自分に対する大人の言動は善意であって、自分のためにしてくれている。こんなことは子どもはわかっているのです。だから嫌でも我慢するしか道がなくなってしまうのです。

幼児期のお子さんがあるご家庭は、みんなで協力して、誰もイライラすることのない和やかな家族であり続けるために、どのような工夫をすることができるか、考えてみてみてください。

小学校に入れば、お仕事でも学びにおいても、まず大人が人生を楽しむ。そして大人から子どもへ“成長する喜び”を伝えていく。。。いかがでしょう？

大人から子どもに伝えていく。。。 こういう“いこいの場”がリビングで集まってできればベストですね。